

Title	企業組織内のインフォーマル集団の役割 - 会社活動における三田会の機能 -
Sub Title	
Author	庄野美也子(Shiyouno, Miyako) 高木晴夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1993
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1993年度経営学 第1005号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001993-1005

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

庄野美也子
(東京電力株式会社)

主査 高木 晴夫

副査 奥村 昭博

森川 英正

所属

高木 晴夫 研究室

企業組織内のインフォーマル集団の役割

－会社活動における三田会の機能－

企業組織の中には、多くのグループ・集団が存在する。そのグループや集団は、企業の公式組織だけではなく、派閥や同期会、趣味のサークルや同好会など、いわゆるインフォーマルな集団もあり、各々の発生のしかたやその目的とするところはさまざまである。本論文は、企業組織内のインフォーマル集団の中でも、同じ大学の卒業生が集まった「同窓集団」に焦点をあてて、その役割および機能を調査・分析したものである。具体的な同窓集団として、慶應義塾大学の卒業生で構成される企業内三田会を取りあげている。具体的方法としては、社会学・社会心理学・組織行動学等を参考に、いくつかの具体的機能項目をあらかじめ推定し、それをもとにアンケート調査およびインタビュー調査を実施した。アンケート調査の結果、現在の同窓集団（三田会）には、ネットワーク機能・情報収集機能・友情機能などが強く見られることが明らかになった。また、社員に占める三田会会員の割合の違い、従業員数の違い、役員に占める三田会会員の割合の違いによって、強く見られる機能に差があることもわかった。インタビュー調査では、アンケート調査ではわからなかった、三田会機能の時間的変質について明らかにすることができた。最後に、会社生活をより充実したものにするために、情報収集やネットワーク拡大の手段として、同窓集団を積極的に活用していくことを、これから同窓集団に入ろうとする人に提言するとともに、経営側に対しても、効率的人的資源管理のためにも同窓集団の活動を認知すべきであると提言している。